

2031年度加佐登地区 ビジョン



《将来像》
《モットー》

『人』が主役
個人が輝き
人が繋がって

生き生きかさと

《基本目標（行動指針）》

安全・安心・美しいまち
健康づくり・心身共に豊かに

《基本活動方針》 地域の聡智で創ろう

目次タイトル

- * 2031年度に向けて・・・地域計画策定の骨子
- * 現状分析 加佐登地区取り組み事業の現状
- * 各自治会・部会・委員会などアンケート結果まとめ
- * 加佐登地区まちづくり協議会活動の維持・継続・発展スキーム「HOW TO」
- * 2031現役世代提案 目標設定ロードマップ
- * 2031年度ビジョン達成 節目年度の目標ロードマップ
- * 各専門部・協議会 節目年度達成目標
- * 中長期ビジョンブレイク 各専門部・協議会 節目年度達成目標
- * まちづくり事業展開体制 《2024年度》
- * 各部会・委員会 2023年度事業実績と2024年度事業予定
- * 2024年度加佐登地区まちづくり協議会運営体制と活動費



加佐登地区

まちづくり協議会 2024・3・23

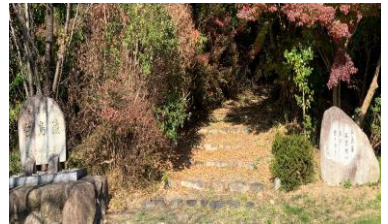
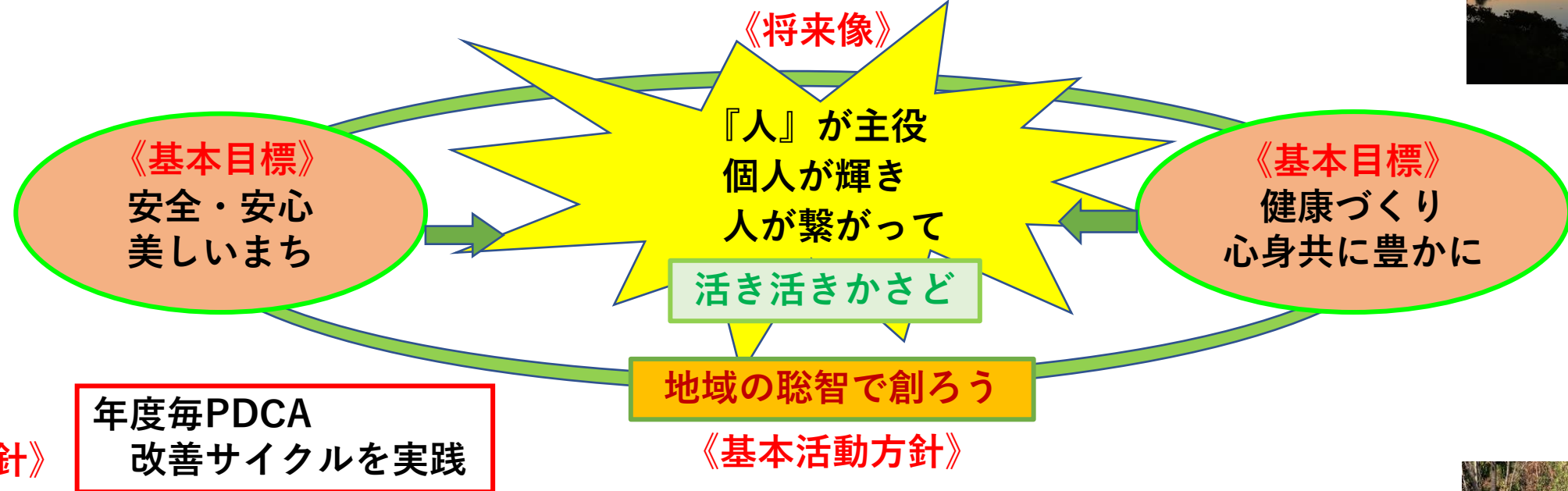
2031年度に向けて・・・地域計画策定の骨子

加佐登地区まちづくり協議会
2024年2月

主旨：2024年度は第1期地域計画の節目の年となり、2020年度から4年間の総括と
現役世代プロジェクト参加による次期地域計画（2024年度～2031年度）策定を実施

次期地域計画策定は
Keep concept + 主要下記3項目で！

【SDGsの取り組み進化】



- 1：2020年度～2023年度 事業の総括 → 事業充実とまちづくり協議会運営システム改善
- 2：加佐登地区まちづくり活動 進化と質の向上 → 個々人の満足度／達成感向上
- 3：現役世代（20～50歳代）プロジェクトによる第2期計画策定 → 次世代展望の活動と実践

2020年度～2023年度中期事業実績と取り組み成果の総括結果（Do-Check）

事業活動はコロナ禍でシュリンクしたが コロナ禍明け事業拡充とフル展開結果、鈴鹿市ビジョン対応1～6事業目標は住民満足度20%の向上を達成と評価（各自治会アンケート結果・各専門部ヒアリング結果及び参加者の増加と参加者の声）

鈴鹿市ビジョン指針と加佐登地区事業対応実態

ビジョン1；子どもが輝き 人と文化を育むまち

加佐登地区 交通安全指導・見回り・夏休み企画・昔の遊び・紙飛行機・稲作作り・いきいき健康教室子育て支援・保育園野菜体験

ビジョン2；健やかに いきいきと暮らせるまち

加佐登地区 文化部15サークル活動・敬老会・フラワーフェスタ・高齢者見守り・一人暮らし高齢者支援 体振部活動（11種別スポーツ活動）

ビジョン3；生命と財産を守り抜ける 安全・安心のまち

加佐登地区 防犯カメラ設置活動・防犯パトロール 防災活動（三地区避難訓練・体制・マニュアルなど）

ビジョン4；環境に優しく 快適な都市基盤を未来へつなぐまち

加佐登地区 地域の美化活動（フラワーパーク、カンナロード草刈り・ゴミ拾い）

ビジョン5；持続可能な産業の発展と にぎわいと交流が生まれるまち

加佐登地区 農芸部活動（農芸祭など） 文化部14サークル活動 敬老会・フラワーフェスタ

ビジョン6；みんなで支える 自分らしく生きるまち

加佐登地区 防災活動・防犯活動・民生部活動・体振部活動・敬老会・フラワーフェスタ

* 近年の人口減少・DXによる社会課題対応・SDGsの推進（17のゴール）

加佐登地区 第2期地域計画策定プロジェクト展開 SNS取り組み強化と実践

《現役チーム検討結果》
現状認識と将来見通し課題
P5 参照

まちづくり協議会主要行事：敬老会／フラワーフェスタ 及び各部会・委員会の協議会への声は改善点・課題はあるが概ね 建設的な意見が多く今後2031地域計画に対応策を反映して協議会の目標達成に向け運営します

主要行事意見の総括

*主催者側・参加者側 共に盛り上がり楽しめた催しとなった。

*準備段階～実行段階に於いて、段取り不具合・改善点もあり、更なるリファインと向上を目指します

- ・2023年度に開催した敬老会では、新たに「記念品のみ参加」という対応を加えたことで、参加したくても参加出来ない人に対する不公平感が改善された。今後は更なる取り組みを検討してもらいたい。
- ・他地域のまちづくり活動を新聞などで目にするが、当加佐登まちづくりも一層の広報活動を推進して活性化を図ってもらいたい。
- ・フラワーフェスタの地元保育園児等による発表は、家族等の関心を集めるとともに当事者の自尊心の育成、更には、多くの観客の興味をひくことができ地元住民の一体感が感じられるイベントとなった。
- ・フラワーフェスタは地域外の参加者も多くいると思われるので、総合的に「多くの参加者がいてよかった」と評価ではなく、どの程度地元住民、地域に貢献できたかを検証することが重要ではないか。

各部会・委員会ヒヤリング結果総括

*地域の基本目標「安心・安全・美しいまち」への体制・仕組み・情報の共有を再整備し住民皆さんと運営側のモチベーション維持・高揚施策を推進する必要があります。

防災部	地域防災部体制と防災設備（備品倉庫増設・防災備品の拡充）三地区防災訓練／マニュアルなど計画通りに実施更に災害弱者救済の取り組み開始。AED講習など一部未実施、また地域住民への防災活動・周知などPR.不足があり、今後の課題
交通防犯部	地域の総合力を発揮するため、運営体制の整備と各地域の連携を強化する必要がある
広報編集部	地域住民と繋がりを深め、まちづくりへの参加と理解が得られる様、DX推進加速と運営体制の強化が必要
体育振興部	地域活性の新企画（地区対抗戦）をしたが協力が得られなかった、皆さんの興味ある参加し易い種目を検討要
協議会	各地区毎の住民数の違いで協議会事業への参加が難しい事がある 後継者（役員など）の成り手がいない（魅力がない） 協議会役員の個々負担が高く持ち出し負担が多いので手当の適正化が必要

現状分析と将来見通しの課題

運営サイドの活性化モチベーション維持

- ・仕事をしながら地域活動の限界
- ・活動の持続性と役員確保が難しい
- ・参加自治会間の世帯数／世代の格差が大きい
- ・効果効率の運営と住民の関与・関心のギャップ

まちづくり活動への住民関心が低い

- ・事業のマンネリ・低認知度／低関心度
- ・行政方針と地域住民の温度差
- ・地域産業・商業との関わりが希薄
- ・地域の特色が活かせてない
- ・交通インフラ・高齢化の交通利便性低下
- ・加佐登駅周辺インフラ整備の遅れ
- ・子供生活の変化（学び・遊び・生活・情報化）

財源確保のスキーム

まちづくり協議会活動資金の拡大 《活性化施策の資金調達》

- ・地域住民の会費
- ・鈴鹿市助成金

活性化施策

役員負担状況と改善・・・規約改訂 自治会格差是正（再編含む連携） インセンティブの活用

- ・地域の美化活動・リサイクルショップ
- ・地域の交通・防犯活動／防災活動
- ・地域の健康づくり
- ・SNS活用拡大と専門性強化

地域の特徴を活性化

地域の強みの発揮

- ・地元スポーツ界・モータースポーツ等
- ・フラワーパーク活用した事業の提案
- ・加佐登調整池の有効活用
- ・地域の史跡と神社・仏閣 観光

再発掘・再開発の要請

- ・地域の祭りと参加型の活性化
- ・加佐登駅周辺と商業地の再開発→要請
- ・子供育成施策の変化対応

資金拡充施策の実践

- ・市への助成金拡大施策 応募
- ・事業計画と連携した収益性向上策

継続・発展の仕組み

NPO法人化

- ・実績報酬制（役員手当適正化）
- ・外部専門性活用（業務委託）
- ・SNS 活用地元情報拡大（宣伝費活用）

加佐登及び西部地区のWell-Being

- ・Park-PFI推進とメリット共有
- ・高齢者運動施設
- ・インドア含むスポーツ施設（子ども育成）
- ・新設道路と商業誘致・住宅地増設
- ・加佐登駅周辺含む再開発
- ・ライドシェアシステム導入

事業運営

- ・地域住民の会費
- ・鈴鹿市助成金

NPO法人化と事業運営

PFI事業のメリット共有

2031現役世代提案 目標設定ロードマップ

PJ活動方針

- ・現役世代プロジェクト(PJ)チームは定例会議を継続
- ・発信はまち協 広報及びSNSを活用
- ・市への要望はまちづくり協議会にて実践する

パイロット事業展開

《選択事業の実証実験》

- ・有効性検証・本格導入判断
- ・住民と意見交換・合意形成

事業選択 《予算・リソースなど》 プライオリティ選択

- ・アンケート結果と状況分析結果

現役世代PJ議論 経過発信と住民意見集約

前期配信／後期分析・まとめ

《広報・SNS活用 活動内容の定期配信》

将来事業の実施可能性分析・調査／研究

- ・ライドシェア・PFI・NPOなど新規事業導入
- ・不用品リサイクル活動

地域の危機管理対応の進化

パイロット事業本格開始

- ・初年度PDCAの実践

将来事業の実証実験

《ライドシェア・PFI／NPOなど》

有効性検証・本格導入判断

- ・問題把握・住民と意見交換
- ・周知と合意形成

現役世代・次世代 参加増加体制

《青年世代部・女性部》・・・現役世代

《少年部・少女部》・・・次世代

まちづくりインセンティブシステム導入

- ・ステッカー発行／住民利益貢献制度

リソース相互活用 《地域資源の財産》

- ・地域団体・商店街
- ・神社・仏閣などアーカイブ化連携

外部専門性活用 《業務委託》

NPO法人化／実績報酬制

- ・まち協継続運営活性化施策

地域周辺の再開発

- ・新道路周辺商業施設
- ・宅地開発
- ・加佐登駅周辺の再開発

ライドシェア実践運営

地域のWELL BEING拠点化

- ・PARK-PFIの実践

2031年度ビジョン達成 節目年度の目標ロードマップ

2024年3月 改訂

ビジョン達成

生き生き加佐登
誰もが感じる達成感・満足度
【SDGs取り組み進化】

- ・ 明るく、安全・安心のまち
(防犯・交通／防災 宣言)
- ・ 美しいまち、歴史と名所
(鈴鹿市3選のまち)
- ・ 交通の利便性
(ライドシェアの定着化)
- ・ 地域を上げた健康づくり
(健康年齢5歳増進)
- ・ 伝統文化と文化的趣味の拡大
(住民参加率2倍)
- ・ 子ども健全育成
(目的別ツールと環境整備)
- ・ 地域農芸と食の活性化
(四季特色の農芸祭と育成)
- ・ 地域のWELL Being拠点
(PARK-PFI要請／地域リソース)
(新道路・加佐登駅商店街周辺)
- ・ NPO法人化と事業拡大
(専門性委託事業の拡大・報酬制度)
- ・ 地域の資源活用【人・物・金】
(地元の特質・人材・資源)

2020年度比2倍達成

地域体制の構築

防犯・防災システムと体制

- ・ 交通安全宣言のまち
- ・ 防災に強いまち(地区別ハザードマップ完)

美しいまちの維持体制(白鳥湖周辺整備)

年代層別健康教室設置

《生きがい充実施策の実践》

《子どもの健全育成・体験型育成》

- ・ 地元TOPアスリート連携事業

地域活性化・継続システムの確立

- ・ 青年世代部(男・女)・少年／少女部の設立育成

- ・ 人口縮小自治会への再編などサポート

- ・ 実績報酬制導入(システム／役員手当など)

- ・ SNS活用コミュニケーション事業

- ・ 目的別ツールと青少年育成事業(eスポーツ等)

- ・ 地域インセンティブ設定(住民利益貢献制)

事業計画／実施計画の充実

- ・ 専門部・まち協の質の向上

2020年度比1.5倍達成
弱点領域の市平均値へ

‘質’向上施策

目標値具体化施策

ブラッシュアップ目標

- ・ 各活動への参加者UP
- ・ 参加者の満足度・質UP
- ・ まち協への理解度UP

参加型プロジェクト仕込み

- ・ 現役世代による地域企画の具体化展開と仕込み

- ・ 地域埋蔵文化財探訪と

- ・ アーカイブ化(小・中・親等参加)

SNS活用拡大と住民の繋がり

- ・ 情報配信(標準化とシステム化)

地域の震災対応への取り組み

- ・ 地域連携・危険箇所調査と検討

- ・ 避難検討と災害弱者の支援検討

- ・ 減災の奨励と啓蒙活動 など

鈴鹿市総合計画2031将来都市像実現にむけて

- ・ 2024年度よりの達成状況を分析とブラッシュアップ
- ・ 新企画策定の実践と活性化(メリハリ展開)
- ・ 加佐登地域の埋蔵文化財アーカイブ化と探訪の実践継続

2020年度比20%向上施策

2023年度事業実績【総括】

- * アフターコロナ挽回
- * 2031年度第2期地域計画
《現役世代プロジェクト》

安全・安心・美しいまち

《交通防犯・実行委員会》

- ・ 駅パト、青パト、朝の交通指導
- ・ 防犯カメラ設置などの活動

《防災・実行委員会》

「かさど地区防災体制」

- ・ 河川災害時の三地区避難訓練
マニュアルなど広域対応実践
- ・ 防災対応備品の検討と推進

《まち協事業》

- ・ 敬老会の実施《兼・文化部発会》
- ・ フラワーフェスタ開催
- ・ フラワー・カンナロード草刈り清掃

《各専門部活動と実績》

農芸部：保育園野菜体験教室・農芸祭
民生部：地域見守り・すくすく広場等
青少年部：児童体験農業・夏休み企画
体振部：Gゴルフ・ボーリングなど
公民館：健康増進・各種サークルなど

‘個人が輝き人が繋がって生き生きかさど’

健康で精神的・文化的・趣味の拡大展開はオール加佐登地区で展開
事業計画／目標値を整合しコラボで推進

各部会・委員会・まちづくり協議会毎に2031年度迄の
『目標と達成基準及び評価方法』を設定し推進する。

2020年度～2023年度

《2024年度》

《2027年度》

《2031年度》

各部会・委員会	コラボ展開	《2024年度》目標設定	《2027年度》目標設定	2031年度‘ありたい’姿
《農芸部》 農芸の改良・進化	・ 青少年育成部 ・ まちづくり協議会 ・ 保育園・小学校	地域の育成と活性化 ・ 農芸祭の活性化 ・ 体験野菜教室の充実（地域の保育園） ・ 小学校PTA（家庭教育学級）コラボ	地域と専門部のコラボ活性化 ・ 農芸祭拡大と住民の菜園など支援 ・ 青少年育成部／コミュニティ支援拡大 ・ スクール／PTAと連携体制の確立	地域特産の宣言 ・ 農芸活動と住民の融合（地域活動とコラボ）
《民生部》 児童・社会福祉の促進	・ 公民館 ・ 青少年育成部 ・ まちづくり協議会	孤立化防止と体制整備 ・ 生活支えあいネットレベルアップ ・ 災害弱者救済体制の整備（地域包括支援センター・まち協等共創事業） ・ 子ども支援サロンの充実	地域と融合で孤立者‘0’ ・ 徘徊事故‘0’ ・ 引きこもり‘0’ 児童と高齢者融合 ・ 災害弱者救済体制の充実	安心支援システム構築 ・ 地域ぐるみの融合 ・ 集いの参加者。満足度2倍 ・ 災害弱者救済体制の確立
《青少年育成部》 子供の健全育成	・ 農芸部 ・ まちづくり協議会 ・ 公民館	コミュニティスクール活動 （小学校PTAと連携強化） ・ 稲作体験・昔の暮らし／遊び学びの充実 ・ 夏休み企画の拡大（まち協コラボ）	児童の生き生き、満足度1.5倍 （学校・PTA・児童 連携充実） ・ 企画の多様化と定着	地域で育てる連携体制確立 ・ 時代に適応した事業の充実
《体振部》 健康づくり促進	・ まちづくり協議会 ・ 各自治会	参加で人との繋がり、豊かな精神 ・ 体振主催・市・西部地区催し種目の参加 ・ 児童スポーツの取り入れ ・ 高齢者参加の運動活性化	地域全対象のスポーツ奨励 ・ スポーツ大会 ・ 健康づくりのジムトレーニング ・ スポーツ指導者育成と活用	・ 健康年齢の5歳増進 ・ 体育館（ジム）整備 ・ 健康指導の体制定着
《文化部》 文化的趣味と芸術拡大	・ 公民館 ・ まちづくり協議会	若年層の参加奨励と地域の融合 ・ 発表会の充実（個人の輝き向上） ・ 新サークルなど（ニーズ発掘）活性化 ・ サークル会員の勧誘活動	人の繋がりと交流で地域活性化 ・ サークル間活動の融合 ・ 地域連携と活性 ・ 保・小・中学校と連携した事業	生き甲斐生活に繋がる【趣味・芸術の活性化】 ・ 個人の輝き・人の繋がり ・ 地域の活性の源
《公民館活動》 【社会教育法第20条】	・ まちづくり協議会 ・ 小学校 ・ 青少年育成部	利便性向上で利用率 ・ コラボ事業の多様化／効率化・地域の文化芸術・子育て・健康増進活動活性化 ・ サークル活動の継続と活性化支援	まちづくり及び住民の活動拠点化 ・ 住民の憩いの場 ・ 情報交換の場の提供	地域機能センター確立

各部会・委員会	コラボ展開	《2024年度》目標設定	《2027年度》目標設定	2031年度‘いたい姿’
《まちづくり協議会》 インフラ・地域計画の推進	・まちづくり協議会 ・専門部 ・市民センター	事業の具体策要望 ・まち協運営事務設備充実（地域事務所・周辺機器など） ・体育・運動器具／施設の充実 ・イベント対応の工夫と充実	地域総合計画の実施要領と実践 ・事業展開の迅速化効率向上 ・地域住民と情報共有化向上 ・体振とコラボで運動指導 ・地域交通システム導入	地域インフラ充実と実践 ・まちづくり運営体制の安定 ・DX活用で住民の利便性定着 ・健康向上施設と指導の定着 ・交通移動の利便性定着
《防災安全部 交通防犯部》 安全・安心なまちづくり	・まちづくり協議会 ・市民センター ・加佐登小学校（加佐登消防分団）	震災・減災対応の推進 * 消防団・自治会防災隊との連携 各地域の危険箇所調査と検討 * 防災・減災の必需品の整備 * 地震体験車・救命に備えたAED訓練 * 災害弱者支援体制検討（地域施設協業） * 河川災害避難のブラッシュアップ 交通防犯の推進 ・地域の体制・システムの充実 ・安全パトロール充実（朝・青・駅パト） ・防犯講習会・防犯カメラ増設など	災害訓練の定着 ・地区別ハザードマップ完 ・災害シュミレーション精度向上 ・避難設備と用品の充実 災害マニュアル完了と実施訓練定着 ・加佐登地区連携システム確立 地域ぐるみの活動で事故‘0’ ・未然防止活動の充実と定着（通行区分整備） ・軽犯罪件数の半減⇒0化 ・児童の交通安全・防犯体制の充実	安心・安全宣言のまち 防災安全 ・地域防災活動の定着（減災啓蒙と防災訓練） ・防災対応設備・備品の完備 交通防犯 ・安心安全の道路環境整備と交通マナーの啓蒙活動定着 ・防犯体制カメラと啓蒙定着
《まちづくり 実行委員会》 地域文化・景観活動	・まちづくり協議会 ・公民館	地域埋蔵《国府跡・白鳥塚等》アーカイブ化と探訪 ・プロジェクト企画と実践 ・文化講座・文化の伝承 ・史跡資料のPR. ・地域の美化活動充実	地域の史跡と動画資料で ・小・中学校教材への活用 ・史跡調査と文化財のアーカイブ ・憩いの場と活性活用	地域まちおこし形態完了 《地域の史跡施設とコラボ》 《地域文化の活用と活性》 ・地域の歴史の日 ・地域文化の日 ・誇れる環境整備と活用
《現役世代PJ展開》 2027年度目標及び2031年度ビジョン達成	第2期計画策定 チームメンバー拡大 まちづくり協議会	現役世代PJ検討経過と 住民意見集約と共有化 ・活動内容の定期的配信とまとめ 《広報・SNS配信》 新規事業に向けた調査研究開始 ・ライドシェア・PFI・NPOなど	パイロット事業展開と実証実験PDCA ・有効性検証《問題把握～本格導入判断》 ・地域住民と合意形成《意見交換と周知》 パイロット事業の本格運用 ・運用開始とPDCA 選択新規事業の実証実験の導入準備	選択事業の本格運用 住民の利用と満足価値の活性 ・事業体制と運営の安定化（事業継承のPDCA体質）

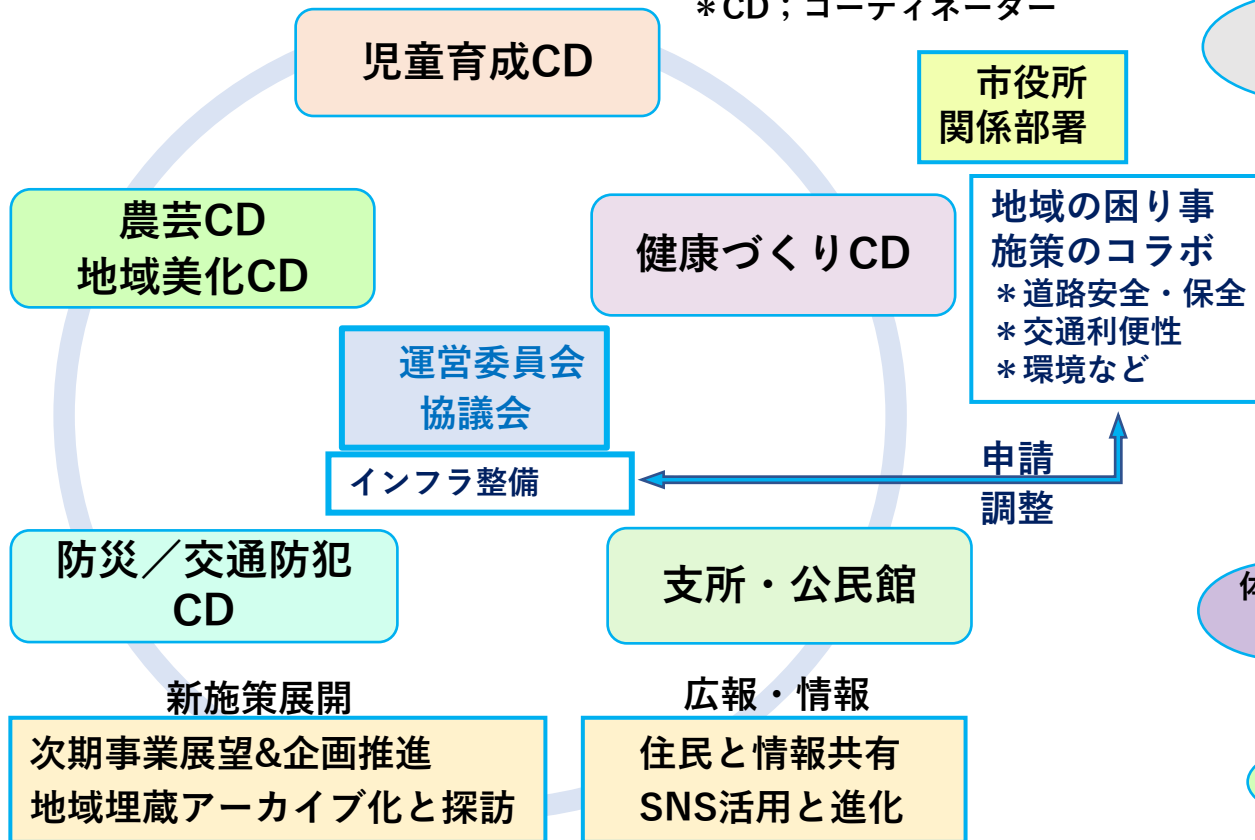
まちづくり事業展開体制

まちづくり協議会役員各位がコラボ展開のコーディネーター

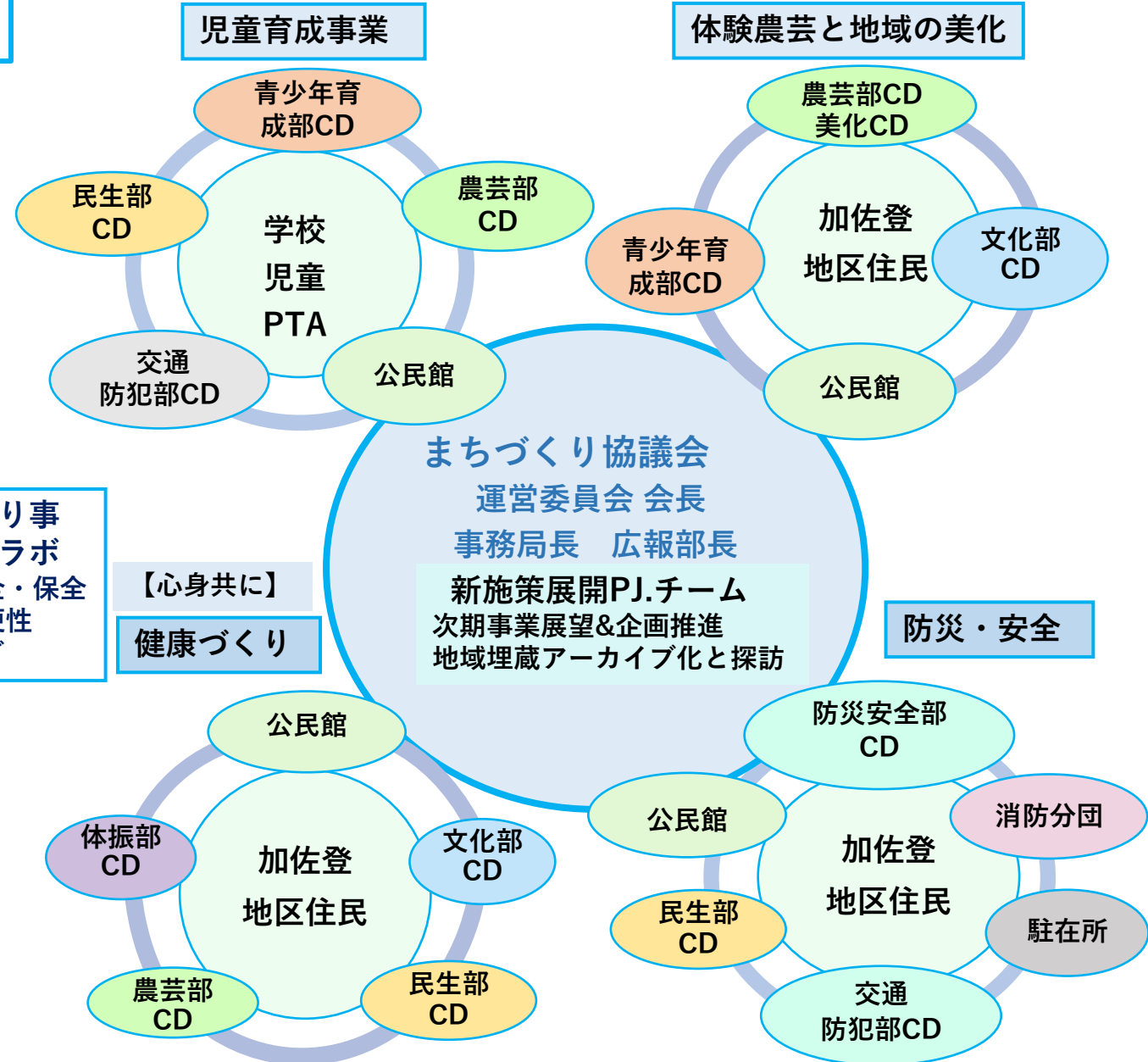
コーディネーターの役割；テーマ事業を円滑かつコラボ効果を出す為
各専門部（部長）及び関係部門と調整・推進を図る責任者

【まちづくり協議会役員会の運営体制】

*CD；コーディネーター



地域の聡智・体制【事業別実行コラボ体制】



各部会・委員会	2023年度活動委実績／評価	2024年度主要施策	活動の観点と目標
文化部	* 敬老会にて発表 慰労会の実施 * 日常サークル活動は 各サークルで活動実施 14 サークル別 活動実績による * フラワーフェスタ参加 評価；敬老会発表・各サークル充実度100%	- 従来通りのイベントを予定 * 敬老会発表・フラワーフェスタイベント出展 * 活性化施策として発表会のグレードアップ * 各14サークルの特色充実 * サークル別 備品・設備の充実化	各部員の活性化と参加者拡大（満足度向上施策）
交通防犯部	* 青パト《児童見守り》3名でランダム 1回以上／週 * 駅パト《加佐登駅防犯活動》夏休み・冬季除く隔日 * 朝の交通指導《毎朝通学路交差点で実施》 * 防犯カメラ2台設置《駐在所・水野ガス交差点付近》 * 安全講習会《駐在、鈴鹿署防犯、等》 評価；計画通り100%遂行	* 地域連携強化「10地区自治会交通・防犯の連携」 * 安全・防犯講習会《鈴鹿署》自転車・詐欺被害防犯 * 青パト《児童見守り》3名でランダム 1回以上／週 * 駅パト《加佐登駅防犯活動》夏休み・冬季除く隔日 * 朝の児童交通指導（防犯グッズの増加） * 防犯カメラの増設《高塚交差点、荒神橋付近》	安全・安心のまちづくり ・講習内容の住民共有化 《PR.パンフ配布…広報とコラボ活動》 ・未然防止への抑止力
防災安全部	* 防災部新設…新規規約類整備と加佐登地区 自主防災体制・保険など整備《地区消防団連携》 * 防災倉庫増設・備品・グッズの購入《安全ベスト等》 * 加佐登、井田川、庄野地区 河川氾濫合同訓練 避難所運営マニュアル作成完了と周知活動 評価；計画通り90%遂行	* 消防団・自治会防災隊との連携の強化 * 防災グッズの必需品の整備《備品の拡充等》 * 震災と減災・救命に備えたAEDの訓練・地震体験車 啓蒙 * 河川災害避難のブラッシュアップ《6月三地区確認会》 * 地域への災害知識の共有化（各自治会）マニュアル着手 * 災害弱者支援体制検討「地域包括支援センター等協業」	地域防災は安全・安心の根源 《地域連携と底上げ》 ・災害シュミレーション調査 及びマニュアル検討 ・活動情報…広報とコラボ
広報編集班	従来広報紙に加え住民の多くが親しめる工夫を追加 * 加佐登広報タイムリーな情報提供 * 各専門部の紹介…活動状況 SNS活用《ホームページ開設・その他》 評価；SNS活用領域遅れ80%	* 次期プロジェクト活動とPR.展開 * 各事業計画の実践状況の記録化とPR. * 住民と繋ぐ情報発信の拡充・・・広報誌の進化 * ホームページ運営と活用の促進 事務局の参加強化	かさど地区住民皆様へ 適宣情報の提供 ・各専門部・まち協情報
まちづくり 実行委員会	* 敬老会・フラワーフェスタ・夏休み企画など実施 参加者／主催者共に楽しむ企画の充実実践 * しめ飾り教室は人数限定で実施 * 美化活動の実施・白鳥湖ごみ除去 参加者の参加拡大《一般参加募集・水資源職員》 * 現役世代PJチーム現状課題分析～将来展望検討 評価；計画通り100%遂行・住民評価はほぼOK	従来通りのイベントを予定《敬老会・フラワーフェスタ等》 * 美しく、安全、安心のまちづくり進化サポート体制強化 * 住民皆様が心身共に楽しむ企画への支援拡大 プロジェクト展開 * 現役世代PJ.主体の企画検討の具現化推進 ⇒チーム中心で推進 * 地域埋蔵文化財のアーカイブ化と探訪 《小・中学生を含む地域の住人》	・コロナシュリンクを挽回 ・喜び・楽しむ企画の充実 ・地域の明日を考える ・地域の宝の発見と活用

各部会・委員会	2023年度活動委実績／評価	2024年度主要施策	活動の観点と目標
農芸部	*5月・9月野菜作り《保育園児と共に》は実施 *Fフェスタ農芸祭《農芸品即売会好評》 評価；計画通り100%遂	*野菜教室開催予定…広報部コラボ展開 *保育園野菜体験教室《5月・9月・予定》 *フェスタ農芸祭のレベルアップ検討	活性化施策を追加 《コロナ禍の挽回》
民生部	*地域見守りネットヤクルト配布・一人暮らし集い。 *すくすく広場8回開催《訪問で誘い活性化》 *Fフェスタはバザー拡大開催で好評・敬老会助成 *その他、絵本・記念品・消耗品・外部講師費 評価；計画通り100%遂行	*地域見守りネット実施「ヤクルトレベルアップ」 *1人暮らし高齢者の集い…レベルアップ検討2回／年 *すくすく広場…《7回／年》 《更なる活性化施策…参加車要望対応》 *災害弱者の支援検討《地域包括支援センター等と協業》	従来活動に加え、より地域に 寄り添った活動の充実 すくすく広場の多様化と充実
青少年 育成部	*稲作体験学習⇒田んぼで農機を实践 *星のおはなし実践…低学年・高学年 7月 *夏休み企画 ゴム飛行機 8月 *昔の遊び、あられ煎り、昔の暮らし「2月」 評価；計画通り100%遂行	*稲作体験学習⇒田んぼで農機使用実践《進化》 *星のおはなし・・・7月 *夏休み企画《まち協と協賛》ミニ縁日・・・ 8月 *昔の遊び、あられ煎り、昔の暮らしを知ろう・・・1月 *ポット栽培の復活《2年生対象》	児童育成の实践充実 地域の中学生も一部対象にした 取組
体振部	*ソフトボール *ファミリーバドミントン、ソフトバレー *ボーリング（2月） *加佐登地区グランドゴルフ実施⇒66名参加好評 鈴鹿市・西部地区主催種目にも参加 ・球技大会に参加（ソフト・バドミントン・ソフト バレーなど一部参加） 評価；計画通り100%遂行	*体振主催イベントレベルアップ 新種目追加検討 従来種目《6月Fバドミントン・7月Fバレー 9月Sボール・10月Gゴルフ・2月ボーリング》 *鈴鹿市主催イベント 《7月ソフトボール、10月Fバド・Fバレー・ソフトボール》 *西部地区主催イベント 《4月Fバド・わくわくスポーツ・10月ロゲイニング》 *加佐登小学校体育館大掃除…《8月・2月》	従来活動に加え より多くの参加者が 集まる工夫 新種目追加 （参加し易い種目）
公民館 事業	アフターコロナ、各事業完全復活 *地域の文化芸術・健康増進活動 *サークル活動の継続と活性化 *講座定期1回・単期5回・救済事業7回 評価；計画通り100%遂行	各事業完全復活と活性化展開 *地域の文化芸術・健康増進活動 *サークル活動の継続と活性化 *講座定期1回・単期5回・救済事業7回	コラボ活動の多様化 ・参加者拡大 ・満足度向上

2024年度加佐登地区まちづくり協議会運営体制と活動費

「人」が主役 個人が輝き 人が繋がって 生き生きかさど

【自治会長会】 【幹事】

加佐登第1・2・3・4自治会長
高塚町・津賀町・広瀬町自治会長
広瀬町能褒野自治会長・レイク・
ニュータウン自治会長

【まち協役員会】

会長・副会長（自治会長）
副会長・書記・会計
監事・SV（顧問）
事務局

運営会議

事業計画案・地区の懸案など立案
役員会に提案・実践の段取り

現役世代チーム：プロジェクト展開

地域の皆さん

2,106世帯・5030人

協議会構成団体

農芸部・民生部・青少年育成部・体振部
交通防犯部・防災安全部・文化部・消防団加佐登分団
まちづくりサポート協力員

協力団体

加佐登小学校・白鳥中学校・PTA
白鳩保育園・かもめ保育園・PTA
駐在所・延命会・高寿会・永楽会

収入 *まち協役員会；事業など役員会（自治会長がまち協のコアメンバー）で決済・1回／月開催

前年繰越し金	自治会収入金	地域補助金等	除草受託金	雑収入	トータル
3,542,690	1,392,300	3,359,450	75,000	0	8,369,440

活動費

農芸部	民生部	育成部	体振部	交通防犯	防災安全	文化部	まち協活動・全 （敬老・フェスタ）	広報部	公民館 運営事業	管理費 事務費・報奨等	予備費	トータル
250,000	300,000	140,000	655,000	695,000	287,000	110,000	1,550,000	350,000	350,000	1,686,000	1,996,440	8,369,440

用語の解説『参考資料』

PFI; private-Finance-Initiative [プライベート・ファイナンス・イニシアチブ]

民間の資金と経営能力・技術力を活用し公共施設などの設計・建設・改修など維持管理・運営を行う

公共事業の手法・・・地方公共団体が発注者となり公共事業を行う。公園・観光施設・リサイクルなど

NPO; non-profit Organization[ノン・プロフィット・オーガニゼーション]

営利を目的とせず社会貢献をする団体、（収益を団体の構成員に配分しない団体の総称）



地域インセンティブ；Incentive[インセンティブ]

奨励金、報奨金制度など行動を促す「刺激・動機・励みなど」意味する言葉・・・モチベーション向上

地域活動の活性化施策・・・健康づくりに関する取り組み施策・健康マイレージ、適材人材の確保と維持制度の取り組み

Well-being;[ウェルビーイング]

良い状態の意味（心身ともに満たされた状態を表す概念）

Ride Shere;[ライドシェア]

相乗り、アプリ上でドライバー同じ目的地に移動したい人を繋ぎ相乗りでのドライブを支援します

DX (Dijital Transformation) ;[デジタルトランスフォーメーション]

環境の激しい変容対応にデジタル技術を活用 業務・組織・プロセス・企業文化・風土を変革し、新たなデジタル時代対応

SDGs (Sustainable Development Goals) ;持続可能な開発目誰

一人取り残さない 持続可能でより良い社会の実現を目指す世界交通の目標

17の目標値；貧困、飢餓、保険、教育、ジェンダー、水・衛生、エネルギー、経済成長と雇用、インフラ産業

・イノベーション、不平等、持続可能な都市、気候変動、海洋資源陸上資源、平和、常套手段